

第七十回帝國議會  
衆議院

# 絲價安定施設法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

## 付託議案

絲價安定施設法案(政府提出)  
絲價安定施設特別會計法案(政府提出)

### 會議

昭和十二年三月一日(月曜日)午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 紫安新九郎君

理事小山邦太郎君 理事飯田 助夫君

理事横川 重次君

百瀬 渡君

栗山 博君

森 幸太郎君

青木 精一君

最上 政三君

篠原 義政君

生田 和平君

平野 力三君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 山崎達之輔君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 長瀬 貞一君

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

農林書記官 周東 英雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

絲價安定施設法案(政府提出)

絲價安定施設特別會計法案(政府提出)

○紫安委員長 是ヨリ絲價安定施設法案外

一件ノ委員會ヲ開キマス

○山崎國務大臣 法案ノ提案理由ハ大要本

第六類第五號 絲價安定施設法案外一件委員會會議錄 第二回 昭和十二年三月一日

會議ニ於テ申上ゲマシタコトニ依ッテ御諒承ヲ願フテ居ル譯デアリマスガ、尙ホ御審議ノ御便宜カト存ジマシテ、今一應内容ニ互リマシテ御參考マデニ説明ヲ申上ゲタイト存ジマス

絲價安定ノ施設ガ蠶絲對策トシマシテ、極メテ重要デアリマスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、是ガ具體案ヲ樹立シタイト云フコトハ、數年前ヨリ政府ニ於キマシテモ熱心ニ苦心ヲ拂ヒマシタシ、又民間當業者其他ニ於キマシテモ、長イ間論議ヲサレテ居リマシタコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、中々旨イ工合ノ所ニ落著キマセヌデ、可ナリ各方面苦心ヲ重ネテ來タコトハ御承知ノ通りデアリマス、所ガ昨年ノ特別議會ノ際ニ、産繭處理統制法ヲ本院ニ於テ御決議ニナリマシタ際ニ、次ノ議會ニハ必ズ絲價安定ニ關スル法案ヲ提案スベント云フ附帶決議ノ次第モゴザイマシテ、又蠶絲業關係者モ爾來益々熱心ニ適當ノ成案ヲ得ルヤウニ要望ラシテ參ラレタノデアリマス、幸ヒ政府ニ於キマシテ一ツノ成案ヲ得ルニ至リマシテ、昨年ノ十二月ニ日本中央蠶絲會

ニ政府ノ成案ヲ諮問致シマシタガ、今回ハ長イ間各方面ニ色々議論ガアツテ居リマシタノガ、幸ニ關係業者ノ方面モ圓滿ニ一致サレマシテ、此案ガ出來上ツタヤウナ次第デアリマス

此案ノ内容ヲ簡單ニ申上ゲマスルト、第一ニ法案ノ目的ト致シマスル所ハ、生絲ノ價格ノ異常ナル騰貴又ハ異常ナル低落、其兩方ヲ防止致シマシテ、蠶絲業ノ安定ヲ期スルト云フコトガ眼目デアリマス

其手段ト致シマシテハ、第一段ニハ製絲業者ヲシテ、絲價安定施設組合ヲ作ラセマシテ、其組合ヲシテ生絲ノ賣買又ハ共同保管ヲ行ハシメル、斯ウ云フ方法ヲ取りマシテ生絲ノ異常ナル高値ト安値ト兩方ヲ抑制シヨウト云フ仕組デアリマス、サウシテ是ハ施設組合ヲシテ第一段ニ行ハシメル譯デアリマスガ、其第二段ノ方法トシマシテハ、政府ガ其組合ノ施設ヲ援助シテ參ラナケレバ、組合デ旨ク運用ガ出來ヌ譯デアリマスカラ、茲ニ於テ第二段ノ施設トシマシテハ、政府ガ現在持ッテ居リマスル五萬俵ノ生絲ト、更ニ資金七千萬圓トヲ以チマシテ、組

合ノ施設ヲ援助シテ行カウ、斯ウ云フ仕組デアリマス、即チ政府ハ先ヅ、生絲價格ノ異常ナル昂騰ヲ抑制スル一ツノ高値標準ト申シマセウカ、賣渡ノ價格ト、ソレカラ異常ナル低落ヲ防止スベキ買入ノ價格ノ兩方ヲ定メマシテ、組合ハ此高値、即チ賣渡價格ニ依ッテ、買上ゲテ貰ヒタイト云フ買入ノ申込、又ハ買入價格ニ依ル賣渡ノ申込ニ應ジマシテ、生絲ノ賣渡又ハ買入ヲ爲サナケレバナラス、斯ウ云フコトニ致シテ居ル譯デアリマス、政府ハ其組合ニ對シマシテ、又其賣渡價格ニ依ッテ、組合ニ對シテ生絲ノ賣渡ヲ爲シ、又組合カラ買入價格ニ依ッテ生絲ノ買入ヲ爲ス、詰リ組合ガ第一段ニ買入賣渡ニ依ッテ、高値安値ヲ抑制シ、政府ハ其組合ニ對シテ、又高値安値ニ依ッテ賣渡買入ヲ爲ス、二段ノ作用ニ依ッテ調節ヲ取ッテ行カウト云フ仕組デアリマス

サウシテ其賣渡價格又ハ買入價格ハドウシテ決メルカト云フ問題デゴザイマスガ、是ハ絲價安定委員會ニ諮問シテ定メル譯デアリマシテ、政府ガ獨斷ヲ以テ、決定スル次第デハナイノデアリマス、其諮問ヲシテ

價格ヲ決メマスル標準ハ、賣渡價格ニ付キマシテハ競争纖維ノ價格ト、物價其他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メル、又買入價格ハ繭ノ生産費ノ中デ、農家ノ現金支出ニ屬スル部分ト、ソレニ農家ノ自給費ノ一定ノ割合ヲ加ヘマシタモノニ依ッテ算出シタ絲價ト、物價其他ノ經濟事情トヲ參酌シテ定メル、斯ウ云フヤウナ仕組ニ致シテ居ル譯デアリマス

此施設ノ附隨的ノ施設ト致シマシテ、繭ト生絲ノ生産統制ニ關スル政府ノ補強的手段ト、繭及生絲ノ生産費、生産高、現在高等ニ關シマシテ、精密ナル統計ヲ整備スル施設ヲ併セ設ケテ行カウト云フ考デアリマス、是ガ絲價安定施設法ノ概要デアリマスガ、之ニ附隨シマシタ法律ガ即チ特別會計法デアリマス

此特別會計法ハ申ス迄モナイノデアリマスガ、施設法ニ於テ政府ノ行ヒマスル生絲ノ買入、又ハ賣渡等ヲ圓滑ニ遂行致シマスル爲ニ、之ニ關シマスル歲入歲出ヲ一般會計ト引離シマシテ、特別會計トシテ置カウ、此特別會計ニ於キマシテハ、本年度末ニ於テ政府ノ所有シマスル生絲約五萬俵デアリマスガ、之ヲ特別會計ノ所屬ニ保管轉換ヲ致シマシテ、サウシテ絲價安定施設組

合カラ生絲賣渡ノ要求ノアリマスル場合ニハ之ニ拂下ヲスル、又生絲ノ買入ヲ必要トスル場合ニ金ノ用意ガナケレバナリマセヌカラ、其爲ニ短期證券ノ發行及借入金ニ依リマシテ、最高七千萬圓マデノ資金ヲ保有シ得ルト云フコトニ致シテアル次第デアリマス、是ガ大要兩法案ノ内容デゴザイマシテ、ドウカ御審議ノ上御可決アラントラ希望致ス次第デアリマス

○最上委員 私ハ去ル二十六日ノ本委員會ノ委員長竝ニ理事ノ互選ノ直後、理事小山君ニ對シテ質疑ノ通告ガ致シテアルノデアリマス、是ハソレレノ手續ヲ取ツタコト、思ハレマスガ、更ニ委員長ニ於カレテ御調ノ上適當ノ機會ニ發言ヲ許サレントラ望ミマス

○飯田委員 私ハ簡單ニ本案ニ關係致シマシテ、政府ニ御伺シタイト思フ、此案ハ産業統制方策ニ關スル色々ノ施設法案ノ最後ノ締括リノ案デアリマシテ、極メテ重要ナ役割ヲ務ムルモノト云フコトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、更ニ政府ハ日本生絲ノ絲價向上ノ點カラ考ヘラレマシテ、生絲ト云フ原料貿易ヨリ、更ニ進ンデ之ヲ織物トシタル所ノ生産品ノ販路擴張、竝ニ消費宣傳等ヲ助長スル、即チ積極政策ヲ執ラル

ル御考ハナイカドウカ、日本生絲ニ對シマシテハ競争纖維タル所ノ米國ノ人絹ハ、人絹織物トシテ其宣傳ハ百貨店其他到ル處ニ、是ガ消費宣傳ガ行ハレテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ横ノ纖維ヲ取ツテ、縦ノ纖維ダケヲ燃シテ見セ、之ニハ更ニ人絹ガ交ツテ居リマセヌト云フヤウナコトヲ能クヤツテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ其横ニハ、即チ人絹ヲ交ゼテアルノデアリマス、其人絹ヲ取ツテ縦ダケノ纖維ニ依ッテ、是ハ全ク交ゼ物ガナイト云フヤウナコトヲ言ッテ居ルノデアリマスケレドモ、サウ云ツタヤウナ交ゼ物等ニ依リマシテ、其人絹ノ價格ヲ釣上ゲテ居ルヤウナ譯デ、即チ銘仙以上ノ反物デアリマストカ、若クハ二三十圓位ノ反物ニ至ル迄、人絹ガ皆織込マレテ居ルヤウナ現狀デアリマスノデ、是ハ標識検査ヲヤレバ直グ分ルノデアリマスガ、日本ノ生絲ガ人絹ニ比ベマシテ其效能ハ使用率ノ高い點カラ云ツテモ、又科學的ノ保溫質ニ富ンデ居ルト云フヤウナ點カラ參リマシテモ、其優レタ所ノ部分ハ幾ラモアルノデアリマス、併ナガラ年々此人絹織物ニ押サレテ行クト云フコトハ、甚ダ遺憾デアルト存ズルノデアリマス、政府ハ此際モット積極的ニ、是等ノ日本生絲ヲ加工品トシテ、其價值ヲ

向上スル御考ハアリマセヌカ、ドウカ次ニ此條文ニ關聯致シマシテ絲價安定委員會デ決メル所ノ價格、即チ賣渡價格ハ、其決定方法トシテ或ル基準、例ヘバ人絹價格ノ何倍ニナツタ時トカ、サウデナケレバ確定ハ總テ絲價安定委員會ニ委託セラレル御考デアルノデアリマスガ、其點ト、更ニ安定委員ハ製絲業者、蠶種業者、輸出業者、生絲問屋業者、生絲取引所等ヨリ選バレルト云フコトハ、本會議デ御答辯ガアッタノデアリマスガ、其數ハ大體幾人位ノ數ヲ以テ構成セラル、御考デアルカ、之ヲ御伺シタイト思ヒマス

次ニ生絲ノ買換竝ニ補充買入ノ場合ノコトデアリマスガ、サウ云ツタヤウナ買換ヲスルトカ、若クハ補充買入ヲ爲スヤウナ場合ニ於キマシテハ、其結果ガ直チニ市場ニ惡影響ヲ及ボサル、ヤウナコトニ付テ、十分御注意セララル、コトハ勿論デアリマスガ、政府ノ此買換ハ一箇年間何依位ノ豫定デアルカ、又補充買入ハ政府ノ蓄有生絲ノ殘高ガ或ル一定數量以內ニ減少シタル時ニ限ッテ行ハレルノデアルカ、此一定數量トハ大體何依位ヲ豫定シテ御居デニナルノデアリマスガ、此點ヲ御伺ヒシタイト思フノデア

リマス

次ニ施設組合ノ業務中ニアル所ノ共同保管ト云フコトハ、此法案ガ實施セラレ、バ、絲價ガ異常ノ低落ヲ爲ス場合ハ、組合ヲシテ買上ヲ爲ス爲ニ、組合ノ此共同保管ノ實行ヲ必要以上ニ助長獎勵スル結果ニ陥リ易イト思ヒマスガ故ニ、此第十四條ニ規定シテアル所ノ價格ノ制限ヲ十分ニ嚴格ニシテ、買入價格ト共同保管ノ標準價格トノ値開キヲ成ベク僅少ニシナケレバナラナイモノト考ヘルノデアリマスガ、其標準限度ヲドウ云フ風ニ決メラレルノデアリマスガ、此點ヲ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 生絲加工品ノ販路擴張ノ問題デアリマスガ、是ハ全ク仰セノ通りデアリマシテ、其點ニモ極力政府トシテハ力ヲ盡シタイト考ヘテ居リマス、詳細ノ事ニ付キマシテハ、其他ノ澤山ノ御質疑モアリマシタカラ、蠶絲局長ヨリ詳細ニ御答致シマス

○井野政府委員 海外へ輸出致シマスノニ生絲以外ニ加工致シマシテ、絹織物トシテ輸出スルト云フコトノ極メテ重要性ハ、當局トシテモ認メテ居ルノデアリマスガ、御承知ノヤウニ絹織物ニ對シマシテハ、各國ソレソレノ關稅制度ガ非常ニゴザリマシテ、

中々コチラデ思ッテ居リマスヤウナ輸出ガ非常ニ困難デアリマス、殊ニ亞米利加ニ對シマシテハ其點ガ相當困難ニナッテ居リマス

ノデ、此方面ニ向ッテハヤハリ從來ノヤウニ生絲トシテ出スコトガ一番適切デアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其他ノ國ニ對シマシテハ、絹織物トシテ出シマスコトガ極メテ適切デアルト考ヘマシテ、一昨年来政府ト致シマシテハ所有生絲ヲ福井、石川兩縣ニ無償ニ交付致シマシテ、絹織物ノ新規販路ノ開拓ノ爲ノ展覽會等ヲ催サセマシテ、サウシテ極力獎勵致シテ居リマス、其結果非常ニ豫期以上ノ效果ヲ收メテ居リマシテ、段々ト海外カラ新製品ニ對スル註文ガ參ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、此點ハ業者モ今日人絹ダケデハイカヌ、絹ノ高級品ヲ以テ海外消費者ニ向ハナケレバナラヌト云フ氣分ガ、相當ニ高マッテ參ッテ居リマスカラ、今後モ此事業ヲ續ケテ參リマスレバ、相當ノ效果ガアルコトデハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

次ニ法文ニ關シテデゴザイマスガ、賣渡價格、買入價格ヲ決定致シマスノニハ、大體法文ニ書イテ居リマスル基準ニ基キマシテ、委員會ニ諮問シテ決メルノデゴザイマ

スルケレドモ、又委員會ノ考ニ依リマシ

テ、他ノ方法モ選ビ得ルト云フ餘地モ殘シテ置カウト思フノデアリマス、サウシテ委員會ノ組織ハ大體豫算デハ二十名ニナッテ

居リマスガ、之ニ特別臨時委員ヲ加ヘルコトモ出來ルヤウニナッテ居リマスルカラ、其時ノ情勢ニ依リマシテ、適當ニ業者ヲ網羅シテ組織致シタイト考ヘテ居リマス  
次ニ補充買入ト買換ノ問題デアリマスガ、是ガ市場ニ及ボシマス影響ニ付キマシテハ、當局トシテモ極力注意ヲ加ヘテ行カナケレバナラス、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、買換ノ如キモ一時ニ多量ノ買換ヲ市場ニ出シマスト、却テ市場ヲ亂スト云フ虞ガゴザイマスノデ、平均的ナ買入方法ヲ探リタイト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、假

ニ初年度買換ガアリト致シマスレバ、約一萬依限度ノ買換ガゴザイマス、ソレモ或ハ新規用途販路ノ方ニ賣ッテ參リマスレバ、市場ニ對シテ餘リニ影響ナシニ行ヒ得ルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

又補充買入ノ問題デゴザイマスガ、何依ラ政府ガ持ツコトガ適當デアルカト云フコトニ付キマシテハ、色々今後モ考慮ヲ致サナケレバナラスノデゴザイマスガ、大體ノ見込ハ現在持ッテ居リマスル數量、即チ五萬依ハ是非持ッテ居タイト、斯ウ考ヘテ居ルノデア

リマス、隨テ現在ノ絲ヲ新規用途、新規販路内ニ賣ッテ參リマシタナラバ、其補充モシナケレバナリマセヌシ、又買入賣渡價格ヲ調節ノ爲ニ此五萬依ヲ賣出スヤウナ場合ニ

ハ、次ノ調節ノ爲ニ持クナケレバナリマセヌ、五萬依程度ハ絶エズ持ツ爲ノ補充買入ヲ致シタイト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ其買方ニ付キマシテハ法文ニモゴザイマスヤウニ、市場ニ惡影響ヲ及サザル方法ト致シタイト、即チ平均的ニ買入ヲ行ヒタイト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス  
最後ニ共同保管ノ問題デゴザイマスガ、從來ノ製絲業者ノ共同保管ト云フコトハ、中々實行モ困難デゴザイマスシ、又其ヤリ方ニ依リマシテハ、却テ色々ノ弊害モ伴ヒマスノデ、當局トシマシテハ絲價安定施設組合ガアリマシテモ、共同保管ヲ致シマス場合ニハ、サウ無暗ニ實行サセタクナイト考ヘテ居リマスノデ、隨テ條文ニモゴザイマスヤウニ、買入一定價格或ハ以內デナケレバサセナイト云フコトニ制限ヲ設ケマシテ、其割合ハ大體——是ハ無論マダ研究致シマシテ變ルカモ知レマセヌガ、今ノ所デハ一割程度ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、隨テ餘リ無暗ニ出動ハ出來ナイ立前ニナッテ居リマス

○紫安委員長 平野君

○平野委員 私ハ本案ニ對シマシテ質問ヲ致シマス前ニ、私ノ質問ヲ致シマスル精神ニ付テ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスルガ、本案上程マデニ付テ、農林當局ニ於カレマシテ色々大藏省其他ノ方面ヲ御説得爲サツテ、本案ガ茲ニ上程サレルヤウニナリマシタ其御努力ニ對シテハ大ニ多トスルノデアリマス、隨テ折角是ダケノ御努力ノ結果出マシタ法案ト云フモノガ、其運用ニ當リマシテ能ク農民及ビ製絲業者ニ對シテ、此法案ノ恩澤ト云フモノガ非常ニ有效デアルト云フコトヲ前提トシマシテ、是ノ運用ニ當ラレル當局ニ對シテ、私ノ考ヘマスル要點ニ付テ御質問ヲ致シタイト思ヒマス、私ハ先ヅ第一ニ私ノ立前デアリマス所ノ養蠶農民ノ見地カラ、此法案ノ運用ニ當リマシテ、當局ニ對シテ質問ヲ致シタイト思ヒマスルコトハ、此法案ノ運用ト云フモノハ、一言ニシテ申シマスナラバ、非常ニ微妙ナル問題ヲ展開スルト思フノデアリマシテ、養蠶農民ノ立前カラ申シマス、要スルニ最低最高ノ價格ト云フモノヲ、委員會ニ於テ決定サレル場合ニ、其最低ト云フモノガ繭ノ生産費ト云フモノヲ割ラナイカト云フ點ニ付テハ、ドウシテモ多大ノ心配ナキヲ

得ナイノデアリマス、隨テ當局ニ於カレマシテハ此繭ノ一貫目ニ對スル生産費ト云フモノヲ、ドノ程度ニ見テ居ラル、カ、又ソレガ實際ノ運用ニ當リマシテ、ソレヨリ下ラナイト云フ自信ヲ持ツテ本案ヲ運用サレルカドウカト云フ點ニ付テ、一ツ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○井野政府委員 本案ヲ運用致シマス上ニ

於キマシテ、養蠶農民ニ對シテ出來ルダケ有利ニ運用致シテ參ルコトノ必要ナコトハ、當局トシテハ認メテ居リマスガ、唯此點ヲ養蠶農民ニモ能ク徹底ヲセシメタイト考ヘテ居リマスルコトハ、本案ハ絲價ノ非常ニ暴騰暴落ヲ防止スルト云フコトガ主眼デアリマシテ、今日養蠶農民ガ養蠶ヲ致シテ居リマスル生産費ヲ、全部此法案ニ依ッテ保障スルト云フコトハ、當局トシテハ寧ろ本制度ヲ壞スモノデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアル、ト申上ゲマスノハ御承知ノヤウニ生絲ハ海外商品デアリ、而モ最近ニ於キマシテハ人絹ト云フ強敵ガ現レテ居リマスルカラ、出來ルダケ生産費ヲ下ゲテ行カナケレバ、今後モ人絹ニ中々對抗シ難イ事情ニアルノデアリマス、ソレト同時ニ又亞米利加其他ノ海外ノ消費状態ヲ見テ居リマス、近年競争纖維ノ爲ニ減退

ヲ見ツ、アルヤウナ状態デアリマスカラ、徒ニ國內ニ於テ増産ヲ誘致スルヤウナ政策ハ、當分ハ控ヘナケレバナラス運命ニアルノデアリマス、隨テ本案モ此養蠶農民ノ生産費ガ全部保障サレテ行クト云フコトニナリマスル、ドウシテモ生産費ヲ低下スルト云フ努力ガ鈍クナツテ參リマスル、又増産ト云フ問題ガ必ズ伴ツテ參リマシテ、結局需給關係ガ逆轉シテ來ル、ソシテ價格ハ假ニ保障サレマシテモ、此制度自體ガ壞レルヤウナコトニナツテ參リマスレバ、結局ハ我國ノ蠶絲業ノ爲ニ非常ニ不利ニナツテ參ルノデアリマスルカラ、此點ハ今日ノ我國ノ蠶絲業ノ特殊性カラ見マシテ、私共ハサウ云フ點マデハ保障スル制度デナイ、而シテ養蠶農民トシマシテ非常ニ其經營ノ基礎ヲ危殆ナラシムルヤウナ所ニ追詰メラレテモ、尙ホ何等保障制度ガナイト云フコトニ於キマシテハ、非常ニ不安ガゴザイマスルカラ、隨テ此本案モ亦養蠶者ノ現金支出ニ自給費ノ或ル割合ヲ加ヘタ程度ノモノハ、相當ニ保障シ得ルヤウニシテヤラウト云フコトガ、本案ノ建前ニナツテ居ルノデアリマス、然ラバ生産費ヲ幾ラニ見テ居ルカト云フコトデアリマスガ、農林省ニ於テ今マデ養蠶者ノ生産費トシテ調査致シタモ

ノハナイノデアリマス、唯實體調査ト申シマシテ、養蠶農家ノ經營上ノ色々ノ調査ヲ致シマシタモノハゴザイマス、併シ是ハ相當ニ好イ養蠶家ノ經營ヲ調査シテ居リマスカラ、ソレヲ以テ全國ノ養蠶家ノ生産費ト見ル譯ニハ行キマセヌガ、其調ベニ依リマスル、大體上繭一貫目當リノ生産費ガ、四圓四五十錢ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ全國養蠶業組合聯合會デ年々調査致シテ居リマスルガ、是ハ繭生産費トシテ調査致シテ居ルノデアリマスルガ、ソレニ依リマス、三圓七八十錢ニナツテ居リマス、帝國農會デ調ベマシタノハ農業經營調査ニ依ル繭生産費トシテ調ベテ居ルノデアリマスガ、是モ三圓八九十錢カラ四圓位ニナツテ居リマス、假ニ三圓八十錢カラ四圓ト云フ生産費ヲ完全ニ保障シヨウト致シマス、生絲トシテハ六百圓以上ニナル、サウ云フモノヲ國トシテ必ズ保障シナケレバナラスト云フコトニナリマス、ソコニ先程申上ゲマシタ色々ノ弊害ガ生ジマスカラ、モウ少シ低イ所デ最低價ハ保障シテ行クト云フコトニ致シタイト考デ居ルノデアリマス

○平野委員 只今ノ御説明ハ御説明トシテ

ハ大體分リマシタガ、更ニ御聽キシタイト

トハ、是ハ多少理窟ノヤウデアリマスガ、此法案施行ノ指導原理ト申シマスカ、根本方針ノ上ニ作用致シテ居リマスル當局ノ觀念ト云フモノニ、大體ニ於テ生絲ヲ安クシテ人絹ニ對抗シテ行カウト云フ方針ガアルト思ヒマス、是ハ米穀政策ニ於ケル所謂農民擁護ノ建前カラ、政府當局ハ公平ナ政策ヲ執ツタ、斯ウ吾々ハ解釋シテ居ルノデアリマスガ、此法案ニ對シテハ、是ハ言葉申シマス、所謂低絲價政策、斯ウ云フヤウナ方針デアルト解釋シテ宜シイノデスカ、或ハソレニ對シテサウ解釋スベキデナイカ伺ツテ置キタイ

○山崎國務大臣 米ト繭ノ關係ハ平野君能ク御察シガ出來マスヤウニ、何分ニモ生絲ガ國際商品デアルト云フ點ヲ、ドウシテモ之ヲ前提ニ置キマセスト、之ニ關スル政策ハ立チニクイ譯デアリマシテ、其點ガ米ノ場合ノヤウニ參ラヌ大キナ理由デアルト存ズルノデアリマス、無論此國際商品タリト雖モ、全國多數ノ農家ノ生活ニ重大ナル關係ヲ持ツ蠶絲業ノコトデアリマスカラ、或ル程度マデハ安値ヲ保障シテ低落防止ヲシテ行ク施設ハ執ラナケレバナラヌケレドモ、同時ニ又一面ニハ出來得ル限り生産費ヲ安クシテ行ッテ、サウシテ多量生産ニ

依ッテ農家全體ノ利益ヲ進メルト云フコトモ、之モ併セテ考ヘテ行カナケレバナラヌ事情ニアル譯デアリマスカラ、ソコニ最低價格ヲ考ヘル場合ニ、米ノヤウニ一寸參リニクイ事情ガアルノハ其邊ノコトデアルト存ジマスカラ、其邊ドウゾ御察シ願ヒマス

○平野委員 モウ一ツ伺ヒマスガ、養蠶農民ニ對スル施設ト致シマシテハ、大體此法案ガ出マスレバ、當分ノ間更ニ他ノ救濟法案ト云フモノハ御出シニナル御考ハナイノデアリマスガ、大體之ヲ以テ當分ノ間ハ養蠶農民ノ爲ニ、是デヤッテ行カレル方針デアリマスガ、承ツテ置キタイ

○山崎國務大臣 産繭處理統制法案ト續イテ今回ノ絲價安定施設法、是デ——マダ他ニ例ヘバ原蠶種ノ問題デアルトカ、行政施設ノ問題ハ多々アル譯デアリマスガ、大キイ立法ト致シマシテハ、一應是デ一區切り著クノデハナイカト、斯ウ考ヘテ居リマス、併シ是ハ法ノ整備ガ出來ルト云フダケデアリマシテ、行政諸般ノ施設ハ是ハ無論今後新ニ考ヘテ行カナケレバナラズ、又是マデノ施設ノ擴充ニ極力努力シテ行キマシテ、養蠶農民及ビ製絲業全體ノ發展ヲ期スル、斯ウ云フ餘地ガ非常ニ多イコトハ申ス迄モナイコトデアリマス

○平野委員 只今ノ御説明ノヤウニ、私モ大體當局トシテ先ツ此法律案ガ出マスレバ、養蠶農民救濟ニ對シテハ、此法律案ヲ善導サレルコトニ依ッテ、救濟方法ガ立テラレルヤウニ思ッテ居リマス、サウ致シマスト農民ノ立前カラ申シマス、此案ガ出マスレバ、ソコニ將來ニ於ケル養蠶ト云フモノヲ立テル上ニ於ケル自己ノ經濟ト云フモノニ對シテ、相當ニ嚴正ナル立前カラ自分ノ産業ト云フモノヲ判斷スルコトニナラウト思フ、今マデハ總テ政策ト云フモノガ不徹底デアリマスルノデ、今ニ何トカ政府ガシテ呉レルデアラウ、今ニ當局ガ何トカ養蠶農民ヲ救濟スルデアラウト云フコトヲ期待シナガラ、非常ニ引合ハヌナガラモ養蠶ヲヤッテ來タト云フノガ心理ダラウト思ヒマスルガ、是ガ出來マスルナラバ之ニ依ッテ相當救濟サレル、又救濟サレナケレバナラナイト云フ考ヲ非常ニ強ク持ッテ居ル、尙ホ今日此法ニ對シテ、農民ガ總テヲ致シテ居リマスル所ノ態度ト云フモノモ、相當救濟サル、デアラウ、斯ウ信ジテ居ルト思ヒマス、其見地ニ立チマスルナラバ、私ノ計算ニ依リマスルト、ドウシテモ今日農民ハ繭一貫目ノ生産費ト云フモノガ五圓以上掛ッテ居ル、例ヘバ私ガ本會議ニ於テ色々申

上ゲマシタノデアリマスルガ、山梨縣ニ付テノ私ノ調査ニ依リマスルト、ドウシテモ五圓以下ヲ下ルト云フ場合ニ於テハ、養蠶業ト云フモノハヤハリ農民ノ立前カラ言ヘバ引合ハナイ、斯ウ云フ見地ニナルノデアリマシテ、只今大臣ノ御説明ニ依リマスルト、外國貿易ノ關係ニ依ッテ其點ハ農民ト雖モ米ノヤウナ譯ニハ行カナイ、蠶絲局長ノ御意見ニ依リマシテモ先程御話ノヤウニ、農民ハ或ル程度マデ我慢シナケレバナラナイ、斯ウ云フヤウナ考デアルト致シマスルト、實際上ノ運用ニ當ッテ、其値段ノ決定當時ニ於テ、農民トシテハ甚ダ重大ナル關係ニナルノデアリマスルガ、此處デ具體的ニ當局ニ聽キタイノハ、大體ニ於テ私共ハ繭一貫目五圓、或ハ計算ノ仕様ニ依ッテハ六圓ニナルト思ッテ居リマスガ、此農民ノ調査ト云フモノハ誤ガアルト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスルカ、ソレハ當然デアルト云フ風ニ解釋セラレマスルカ、色々農林省カラモ統計ヲ貰ッテ居リマスルケレドモ、一貫目ニ付テ幾ラト云フ調ガナイヤウデアリマスルノデ、一貫目ニ付テ吾々ガサウ解釋シテ居ルコトニ付テ、ソレヲサウ思ハレマスルカ、或ハソレデハ高過ギルト云フヤウナ考ヲ持タレルカ、承ツテ置キマス

○井野政府委員

繭一貫目五圓乃至六圓ノ生産費ガ掛ッテ居リマス養蠶農家モアルコトハ、私共モ承知シテ居リマス、併シソレハ全國的ニ考ヘマスルト、相當ニ生産費ガ高ク掛ッテ居ル養蠶農家ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、全國平均デ行キマスレバ、マア四圓前後ガ普通デハナイカ、併シ是モ當局トシテ今マデハ全國ニ互ル精密ナ調査ヲ致シテ居リマセヌ、今後ハ豫算ヲ戴クコトニナリマスルカラ其調査モ出來マスガ、大體今マデノ世間デ言ッテ居リマスル常識的ノ考ヘ方カラ見マシテ、四圓前後デヤナカラウカト思ッテ居リマス

○平野委員

此點ハ金額ニ付テ或ハ確實ニ御明示ニナルコトハ出來ナイカト思ヒマスケレドモ、ヤハリ實際問題カラ言ヒマストト重點デアルト思ヒマスルノデ承リマスルガ、現在農林省ニ於テ御考ヘノ生絲ノ最低最高ト云フモノヲ、大體幾ラガ最高デ、幾ラガ最低ト御考ヘニナッテ居ラレマスルカ、ソレヲ承ハレ、バ幸デアリマス

○井野政府委員

生絲ノ最高最低ト云フ觀念ハ非常ニムヅカシイ問題デゴザイマシテ、マア最高ト云フ意味ガ本案ニ於キマスル賣渡價格デ、最低ト云フ意味ガ、本案ニ於ケル買入價格デアルト致シマスレバ、賣

渡價格ノ方ハ大體人絹ヲ目標トシテ考ヘテ行キタイト考ヘテ居リマシテ、而モ其限度ニ付キマシテハ絲價安定委員會ニ諮問致シマシテ、能ク其委員會デ相談ノ上デ決メルコトニナリマスルカラ、今凡ソ幾ラ位ト云フ具體的ノ値段ハ申上ガ兼ネルノデアリマス、併シ大體ハ人絹ノ三倍カラ四倍位ノ間デ決メテ行キタイト云フ風ニハ考ヘテ居リマス、具體的ニ値段ハ申上ガ兼ネルノデアリマス、又買入價格モ先程來申シマス通りニ、繭ノ生産費ヲ保障スルト云フコトデハナイノデ、假リニ今御話ノヤウニ五圓ノ繭ノ生産費トシテ之ヲ保障スルト云フコトニ

ナリマスルト、生絲トシテハ七百五六十圓ノ價格ニナッテシマフ、其價ヲ保障シテ行カウト云フコトニナリマスレバ、今日制度トシテ成立チ得ナイト私共ハ考ヘテ居リマス、隨テ本案ヲ出シマスニ當リマシテ、養蠶團體ニ對シテ此點ハ強ク力説シテ居ルノデアリマス、養蠶農民トシテハ生産費ノ保障ガ欲シイデアラウ、併シソレヲ此制度デ致シマスレバ、此制度自體ガ壞レルシ、又日本ノ蠶絲業ノ爲ニ決シテ採ラザル所デア

ル、ドウシテモ養蠶農民トシテハ、今後出來ルダケ生産費ヲ下ゲテ、今後ノ需給關係カラ見テ増産ニ重キヲ置カズ、適切ナル經

營ヲ致シマスコトニ依ッテ、初メテ明ルイ蠶絲業ノ將來ガ出テ來ルノデアルト云フコトヲ力説シテ居リマス、隨テ此案ハ決シテ米相場ノ他ノ案ノ如ク生産費ヲ保障スル案デハナイ、ソレデ宜イカドウカト云フコトヲハッキリ私ハ申シテ居ルノデアリマス、ソレ

デモ無論養蠶農民トシテハ、或ル程度ノ保障ト云フコトガ得ラレ、バ、今後ノ經營ニ非常ナ安全性ヲ持ツカラ、是非ソレデ宜イカラ出シテ貰ヒタイト云フノガ團體ノ聲デア

アル、是ハ全國ノ養蠶農民ノ聲トハ決シテ申上ガマセヌガ、團體ハソレデ皆満足ヲ致シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、其點ハ私共モ希望トシテハ、平野委員ノ御話ノヤウニ其處マデ行キタイトデアリマスケレドモ、サウ云フ事柄ハ却テ案自體ニ色ノ缺陷ヲ持ツノデアリマスノデ、此程度ヲ以テ、私共ハ今後養蠶農民ガ經營ヲ續ケテ行キマス上ニ於テ、ヤハリ是モ一ツノ大キナ安定策ニナル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○平野委員

本案運用ノ途上ニ於キマシテ、製絲業者ト養蠶農民ノ間ニ、必ズシモ利害ノ一致シナイ場合ガ生ズラデアラウト推測出來ルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ如何様ニ御考ニナリマスカ

○井野政府委員

本案ハ決シテ養蠶農家ト製絲家トノ間ニ、色々ノ摩擦ヲ生ジマスヤウナ事柄ハナイト考ヘテ居リマス、本案ノ運用次第ニ依リマシテハ、絲價ヲ安定セシムルト云フ考ヘ方ノ上ニ於キマシテ、絲價ト繭價トガ不自然ナル動キヲスル場合ガゴザイマス、假リニ、絲價ガ本案ニ依リマシテ買入價格デ維持サレルト致シマシテモ、繭價ハソレニ比較シテモット下ル場合ガアルデアラウト思ヒマス、サウ云フモノニ對シテハドウ云フ結果ニナルカト云フト、是ハ前年御協贊ヲ得マシタ産繭處理統制施設ガ五箇年計畫デ完成シテ參リマシテ、養蠶農民トシテモ立派ナ乾繭設備ヲ持ツナリ、或ハ組合製絲ニ依ッテ進ムナリ致シテ參リマスレバ、絲價ト繭價ノ不自然ナル開キハ一段ナクナルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、殊ニ此案ニ依リマシテモ、政府ハ買入價格ナラバ組合ヲ通ジテ何時デモ買フノデアリマスカラ、養蠶農民トシテ繭ヲ作ッテ見タ所ガ、絲價ニ較ベテ繭價ガ安イト云フ場合ニナリマスレバ、自ラ委託製絲ニシテ組合ニ賣ッテ參リマスレバ、買入價格並ニハ必ズ繭價ハ維持サレルコトニナルノデアリマスカラ、隨ヒマシテ養蠶農民トシテハ絲價ト繭價ノ不自然ナル開キト云フモノハナ

リマス

リマス

クナツテ來テ、結局兩者トモ公平ノ立場ニ於テ、或ル程度ノ保障ヲ得ル、斯ウ御考ヲ願ヒタイノデアリマス

**○平野委員** 大體ニ於テ只今御説明ノヤウニ解釋モ出來マスガ、併シ必シモ例外ノ場合デハゴザイマセスガ、私ノ考ニ依リマシテハ斯ウ云フ場合モ生ズルト思フ、即チ委員會ニ於キマシテ決定スル場合ニ於キマシテ、製絲業者ト致シマシテハ、大體ニ於テ最低ヲ保障サレタ場合ニソレハ少クトモ損ハシナイ、斯ウ云フコトニナリマスガ、養蠶農民ノ立前カラ申シマスルト、是ハドウシテモ或ル一定ノ値段ガ保障サレテ來ルト云フコトニナレバ、勢ヒ増産ト云フコトハ免レナイト思フノデアリマス、其場合ハヤハリ増産ノ結果繭ガ下ルト云フ場合モ想像シナケレバナラスノデアリマス、是ハ一言ニスレバ農民ガサウ云フ經濟上ノ觀念ニ乏シト言ヘバ、罪ハ農民自身ニアルノデアリマスガ、併シ實際農民ノ立前カラ申シマスルト、繭ガ安イカラ餘計作ッテ收入ヲ得ヨウ、又餘計作ッテ收入ヲ得ヨウト云フ結果ハ、ドウシテモ増産ニナル、是ハ原蠶種ノ所謂國家管理ニ依ッテ、相當統制ヲサレルドラウト云フコトハ考ヘラレマスケレドモ、個々ノ問題ニ付テハ必ズシモサウハ

行カナイノデアリマス、隨テサウ云フ場合ニ當ッテ、多クノ過去ニ於ケル委員會等ヲ見マスルト大體ニ於テ養蠶農民或ハ純農民ト云フモノ、建前ガ、比較的輕クアシラハレマシテ、ヤハリ製絲業者ノ意見ト云フモノガ、多ク採用サレルト云フコトヲ考ヘマサルノデ、此點ニ於テ、私ハ只今ノ説明ハ一應サウ云フ風ニ考ヘマスケレドモ、私自身ノ建前ニ於テハ、一抹ノ大ナル疑點ガ存スルノデアリマス、ソコニ於テ農林大臣ニ承リタイ事ハ、是ハ本會議ニ於キマシテモ私ガ質問ヲ致シマシテ、大體ノ御答辯ヲ得テ居リマスルガ、更ニ此委員會ニ於テ具體的ニ承リタイ事ハ、此絲價安定委員會ト云フモノニ、養蠶農民ノ意見ヲ反映スルヤウニ爲サルト云フ御答辯ハアルノデアリマスルガ、更ニモウ少シ此點ニ付テ具體的ニ、サウ云フ場合ニ養蠶農民ノ意見ヲ、十分代表シ得ルヤウナ委員會ノ構成トシテ、何カ具體的ニ御考ガアレバ私ハ承リタイと思ヒマス

**○山崎國務大臣** 此施設ガ製絲家ノ利益ニ偏スルトカ云フヤウナ考ハ毛頭ナイコトハ、本會議デ申上ゲク通りデアリマシテ、私共モ常ニ養蠶農民ヲ土臺ニシマシテ、總テノ蠶絲政策ハ考ヘテ行ッテ居ルト申シテ

モ宜イ位デアリマスカラ、此最高最低ノ價格ヲ決定スルコト、其他ノ問題ニ付キマシテ、養蠶家ノ意見ガ反映スルヤウニ仕組マテ行カナケレバナラスコトハ無論デアリマス、唯ドウ云フ方ヲドウト云フ風ナ意味ニ於テノ具體的ノ御説明ハ出來兼ネマスケレドモ、御懸念ノヤウナ養蠶農民ノ眞ノ聲ガ反映シナイト云フヤウナ嫌アルコトハ、是ハ避ケタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、一寸是レ以上具體的ニト申シマスト云フト、ドウ云フ方面カラドウト迄申上ゲナケレバナリマセスガ、ソコ迄ハ實ハ申上ゲ兼ネマスガ、アナタノ御趣旨ハ十分私ノ頭ニハ分ッテ居ル積リデアリマス

**○平野委員** 此點ハ特ニ此席上ニ於キマシテ、私ノ切實ナル希望トシテ、農林大臣ニ是非養蠶農民ノ意見ヲ反映スルヤウナ構成ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ述ベテ、其點ハ大體只今ノ御答辯デ承服致シマス  
其次ニ承リタイと思ヒマスルコトハ、ヤハリ大體分ッタクヤウデアリマスルガ、尙ホ一抹ノ不安ト云フモノハ、繭ノ生産ト云フモノガ増加シテ値段ヲ下ゲル、斯ウ云フ點ガ依然トシテ殘ルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ先程御説明ノヤウニ、此法案以外ノ法案ニ依ッテ色々設備サレ、又養蠶農民

ヲ助ケルト云フヤウナ御考モアルノデアリマスガ、此所謂値段ガ安定シタ場合ニ於テ、各地ニソソナニ増産ハナイト思フケレドモ、自然ノ間ニ増産ガ昂マツテ來テ、値段ヲ下ゲル點ニ付テ何カ適切ナル所ノ対策ニ付テ、蠶絲局長ハ別個ニ何カ御考ガアルカドウカ承リタイと思ヒマス

**○井野政府委員** 本案ノ目的ガ大體増産ヲ誘致シナイヤウニ、種々ノ點ニ於テ考慮ヲ加ヘテ居リマスガ、併シ大體ノ經營ガ安定シテ參リマス、多少ハ増産ト云フコトモアリ得ルト思フノデアリマス、併シ私共ハ本案ニ依ッテ價格ノ安定ヲ見マスルト、消費ノ方モ此案ノ結果相當ニ需要ガ殖エマスカラ、多少ノ増産ニナリマシテモ、其間ニ需給關係ニ不均衡ヲ生ズルコトハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、併シ萬一需要ガ減リマシテ供給ノ方ガ非常ニ殖エテ、ソコニ過剩ヲ生ズルト云フヤウナ場合ニハ、本案ノ運用ニ依リマシテ、或ル程度ハソレモ調節出來マスケレドモ、又本案以外ニ、例ヘバ桑園ノ整理デアルトカ、改植デアルトカ云フヤウナ事柄モ、一ノ大キナ施設ニナツテ參リマス、又養蠶團體ニ對シマシテ、自治的ニ色々ノ調節手段ヲ講ゼシメマスコトハ考ヘテ居リマスルカラ、ソレラハ即チ應急的ノ

對策トシマシテ、其時々ニ考慮シナケレバ  
ナラヌト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○平野委員 生産制限ニ付テ、養蠶業ヲ以  
テ殆ド主タル産業トシテ居ル府縣ト、或ハ  
殆ド之ヲ副業的ニヤツテ居ル府縣トニ大體  
分ケラレルノデアリマスルガ、之ニ對シテ  
一率ニ生産制限ト云フモノヲ御考ニナツテ  
居リマスルカ、或ハ養蠶ヲ以テ主トシテ  
立ツテ居ル府縣ニ付テハ、其府縣ニ對スル特  
別ノ考ヲ以テ進マレルカ、或ハサウデナイ  
カト云フコトヲ一ツ承リタイ

○井野政府委員 從來養蠶家ニ對シテ、生  
産統制ノ事柄ヲ致シテ居リマス場合ニ、  
養蠶地方ト其他ノ地方ヲ區別シテ考慮シテ  
居ツカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ非常  
ニ難シイ問題デアリマシテ、出來レバ或ハ  
サウ云フ區別モ必要カト思フノデアリマス  
ケレドモ、中々實行ノ上ニ於テ、ドノ程度  
デ其區分ヲスルカト云フコトガ非常ニ難シ  
イノデアリマス、隨テ今マデ當局トシテ致  
シテ居リマシタノハ、大體一率ニ總テノ施  
設ヲ致シテ來テ居リマス、併シ無論例ヘバ  
獎勵金ノ問題デアルトカ其他ノ問題ニ於  
テ、主要養蠶地方ニ出來ルダケ多クノ獎勵  
金ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ當然ノ結果  
デアリマスケレドモ、生産調節ニ付テドレ

ダケヲドノ縣ニ割當テルト云フヤウナコト  
迄致シタコトハゴザイマセヌ、併シ結果ニ  
於テドウナツタト申シマス、今迄ノ生産統  
制ノ施設ニ依ツテ繭價、絲價ガ非常ニ回復ヲ  
致シマシタ場合ニハ一率ニヤツテ居リマシ  
テモ、其回復ノ度合ト云フモノハ、養蠶地  
方ニ非常ニ影響ガ多イノデアリマスカラ、  
今日マデノ吾々ノ施設ト云フモノハ、大體  
過チナクサウ云フ點ニ於テ行ハレテ居ル  
ト、斯ウ信ジテ居ルノデアリマス

○平野委員 此際農林大臣ニ希望ヲ兼ネテ  
所見ヲ承リタイト思ヒマス、養蠶業ト云フ  
モノハ、或ル意味ニ於テハ副業デアリマス  
ケレドモ、主タル縣ニ於テハ正業デアリマ  
ス、例ヘバ山梨縣ニ於キマシテハ、米ヨリ  
モ養蠶ノ方ガ正業デアルト解サレテ居リマ  
ス、之ヲ副業ニシテ居ル所ト、殆ド本業ニ  
シナケレバナラナイ府縣トニ對シテ、平等  
的制限ヲ行ハルルト云フコトハ、私ハ所謂  
蠶絲業ニ對スル政府ノ根本方針トシテハ、  
甚ダ迂闊デアルト信ジマス、是ハ將來農業  
政策上ニ於ケル所ノ副業統制等ノ根本方針  
カラ致シマシテモ、是非共ソレヲ實行サセ  
ナケレバナラナイト云フコトヲ考ヘマスル  
ガ、就中此養蠶業ニ付テハ農林大臣トシテ、  
特ニ此法案施行ト共ニ養蠶ヲ主トシテ立ッ

テ居ル府縣ト、然ラザル府縣ト云フモノニ  
對スル所ノ對策ヲ一率ニサレナイヤウニ、  
此點ニ付テ特ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマ  
スガ、農林大臣ノ所見ヲ承リタイト思ヒマ  
ス

○山崎國務大臣 只今蠶絲局長カラ是マデ  
ノ諸般ノ政策ノ實施ノコトニ付テハ、御説  
明ヲ申上ゲタ通りデアリマスガ、蠶絲局長  
ノ申上ゲマシタノハ、生産ノ制限ナドヲス  
ル場合ニ、中々ドウモ縣々ニ依ツテ、特殊ノ  
扱ヒガ實際問題トシテハヤリ惡イト云フ事  
情ヲ申上ゲタ譯デアリマスガ、是ハ其通り  
デアリマス、サリトテ又ソレダケデ、ソレ  
デヤドノ縣モ劃ニ一行ツテ居ルカト申シマ  
スト、是亦必シモサウデハアリマセヌデ、  
私共前在任ノ當時カラ、御承知ノヤウニ  
丁度養蠶業ノ最モ困難ナ時代デアッタ譯デ  
アリマスガ、ア、云フ際ニ於キマシテハ、  
主要養蠶縣ト云フモノニ對シテハ、無論諸  
般ノ他ノ施設ニ於テ特別ノ力ヲ用ヒテ行ッ  
タ譯デアリマシテ、詰リ事ニ依リマシテハ  
縣々ニ依ツテ區別ノ出來ニクイコトモアリ  
マスシ、サリトテ又縣ノ大勢ガ養蠶ヲ以テ  
主トシテ居ルト云フ所ト、全ク事情ノ違ッ  
タ其他ノ地方トニ於テハ、無論之ヲ何モ彼  
モ劃ニ一行クト云フ考ヘ方ハ採ツテ居ラス

ノデアリマス、平野君ノ御話ニナリマス大  
體ノ御精神ハ、私共モ相當理解ヲ致シテ居  
ル積リデアリマス

○平野委員 次ニ承リマスルコトハ、是ハ  
ドウシテモ論ジテ茲ニ來リマスルト、養蠶  
農民ノ繭ヲ作ル上ニ於ケル生産費ヲ安クシ  
テ行クト云フコトニ付テハ、更ニ當局ニ御  
考慮ヲ煩サナケレバナラナイコトダト思ヒ  
マス、ソコデ繭ノ生産費ヲ安クスルト云フ  
コトハ、然ラバ具體的ニ考ヘルナラバ何  
カ、是ハ色々蠶ヲ飼フ上ニ於ケル技術上ノ  
改良、或ハ其他ノ細カイ問題ヲ擧ゲマスナ  
ラバ實際ガナイト思ヒマスケレドモ、一番  
主タル部分ト云フモノハ、小作人ニ於キマ  
シテハ小作料デアリマス、然ラザル者ニ於  
キマシテハ、ヤハリ肥料代ト云フモノガ、  
相當嵩ムト云フコトハ言フ迄モアリマセ  
ヌ、繭ノ生産費ト言ヒマシテモ、要スルニ  
桑ト云フモノガ一番金ガ掛ルノデアリマ  
ス、即チ桑畑ト小作料及ビ肥料代金ト云フ  
モノガ、一番主タル部分トナツテ金ガ掛リ  
マス、是ニ於テ此案ノ施行ト共ニ、肥料問  
題ト此小作料問題ト云フコトニ、農林大臣  
ガ更ニ相當ノ御考慮ガアルト云フコトデナ  
ケレバ、本案ト云フモノハ、畢竟スルニ約  
一億圓近イ所ノ金ヲ以テ、農民救済ノ立前

一億圓近イ所ノ金ヲ以テ、農民救済ノ立前



ノ下ニ立テラレル案ト致シマシテハ、ヤハ  
リ農民ノ救済ヲ受ケル恩典ハ甚ダ薄イノデ  
アリマスカラ、此點ニ付キマシテハ、併セテ  
農林大臣ガ相當ノ御考慮ガアルカ、或ハ現  
在ハソレ迄考ヘテ居ラレナイカ、承リタイ  
ノデア  
○山崎國務大臣 農家全體ノ問題トシマシ  
テ、肥料ノ問題ガ大切デアアルコトハ御話ノ  
通りデアリマス、殊ニ養蠶業ニ於キマシテ  
モ、生産費ノ少ナカラザル部分ハ、肥料デ  
アルコトハ平野君ノ仰セノ通りデアリマス  
ガ、隨テ肥料ノ問題ニ付キマシテハ、政府  
ニ於テモ相當苦心ヲ拂ッテ居ル譯デアリ  
マシテ、昨年ノ議會ニ於テ、重要肥料統制  
法ヲ御決議ヲ願ヒ、併セテ豫算ニ於キマシ  
テ、自給肥料生産ノ計畫ヲ御認メテ願ッ  
譯デアリマスガ、更ニ只今御審議中ノ來  
年度豫算ノ中ニハ、硫安ヲ或ル一定量貯藏  
スルト云フ施設ヲ設ケルコトニ致シテ居リ  
マスガ、是等ノコトガ要スルニ相俟ッテ、一  
面ニハ自給肥料ノ増産ヲヤリ、一面ニハ販  
賣肥料ノ價格統制ヲヤル、斯ウ云フ當局ノ  
政策ノ現レデアリマスガ、是等ハ要スルニ  
肥料ト云フ問題ガ農家經濟ニ最モ重要ナ關  
係ヲ持ッテ居ル故デアリマスガ、此點ニ付テ  
ハ平野君ノ御懸念ノ通りニ、當局ニ於テモ

考ヘテ苦心ヲ拂ッテ居ル譯デアリマス、一方  
小作料ノ問題デアリマスガ、此小作料ノ問  
題ハ土地ノ慣行ニモ依リ、又大體ノ社會正  
義ノ觀念ニ依ッテ調節セラルベキモノデア  
リマシテ、之ヲドウモ政府ノ法令、或ハ其他  
ノ方法ニ依ッテ小作料ノ規準ヲ決メルト云  
フヤウナ譯ニハ、是ハ參リ兼ネルト思フノ  
デアリマスガ、是等ハ先刻申上ゲマシタヤ  
ウナ、地方々々ノ慣行ナリ、或ハ自然的ノ  
社會ノ通念ト云ヒマスカ、サウ云フコトニ  
依ッテ適當ニ運營サレテ行クコトヲ期待ヲ  
致シテ居ル譯デアリマス、尙ホ此養蠶ニ付  
キマシテ、例ヘバ一面ニ政府ガ今回計畫ヲ  
立テマシタ羊毛ノ増産ノ計畫ノヤウナモノ  
モ、緬羊ノ問題ノ如キモ、ドツチカト云ヒマ  
スト、養蠶地方ニ最モ適當ナモノデアリマ  
スルシ、又養蠶地方ニ於テ緬羊ヲ飼育スル  
ト云フコトガ、今御話ノ肥料ノ關係カラ申  
シマシテモ、其他ノ關係カラ言ヒマシテ  
モ、非常ニ經濟上有利デアルト云フ考ヘ方  
モ持ッテ居リマスカラ、ア、云フヤウナ施設  
モ、事ハ唯緬羊増産ト云フコトデアリマス  
ケレドモ、實際ノ運用ニ於テハ、養蠶地方  
ニ最モ大キナ關係ヲ有スル譯デアリマン  
テ、要ハ各般ノ施設ヲ講ジマシテ、養蠶農  
家ノ經濟ノ寬キヲ付ケル、斯ウ云フヤウナ

コトニハ怠ラズ努力ヲ致ス積リデアリマ  
ス  
○平野委員 小作料ノ問題デスガ、是ハ豫  
算ノ分科會デ聽カウト思フタノデスガ、ヤハ  
リ關聯デアリマスルノデ此處デ一寸承リタ  
イノデアリマスガ、政府カラ材料トシテ載  
キマシタ表ヲ見マスルト、日本勸業銀行調  
査ニ依ルト云フコトデゴザイマス、昭和八  
年ニ於テ田ノ小作料ガ十圓九十二錢デアリ  
マシタノガ、昭和十一年ニ於テ十三圓九十  
錢ト云フヤウニ上ッテ居ルヤウデアリマス  
ガ、是ハドウ云フ原因デスカ、蠶絲局長ニ  
於テ御研究アリマスレバ承リタイ

○井野政府委員 米價其他ノ物價ガ上ッ  
關係デハナイカト思ヒマスケレドモ、尙ホ  
調ベマシテ又御答致シマス  
○平野委員 此點ガヤハリ問題ニナリマ  
ス、只今御話ノヤウニ私ガ説明スル迄モナ  
ク、大體ニ於テ御承知デアリマセウガ、田  
ノ小作料ト云フモノハ一段歩ニ付テ何石、  
或ハ是ダケノ面積ニ付テ何石何斗ト、斯ウ  
云フ風ニ決ッテ居リマスガ、畑ノ小作料ノ關  
係ヲ見マスト、多クハ生絲ノ値段ニ依リマ  
シテ、其年々々ニ定メルヤウナ慣習ガ、今  
尙ホ農村ニ多イト云フコトハ、無論蠶絲局  
長御承知デアリマセウ、サウ致シマスト、

一方ニ於テ絲價ガ安定サレテ生絲ノ値段ガ  
好クナッタト致シマスルト、現在地主階級ハ  
小作人ニ對シマシテ、生絲ノ値段ガ良クナッ  
タカラ小作料ヲ餘計取ルト云フ考ニナル、  
然ラバ小作人ガ之ヲ防衛スベキ方法ガアル  
カト言ヒマス、農林大臣ガ一番御承知デ  
アルガ、現在ノ農村ニ於ケル慣行ト致シマ  
シテハ、此點ニ付テ小作人トシテ地主ニ對  
抗スル方法ハ全ク法律上ナイ、隨テ一方ニ  
於テ絲價安定法ガ出マシテ、ソレニ依ッテ  
相當ニ絲價ハ安定シタト云フ小作人ハ養  
蠶ヲヤッテ居リマスト、片方ニ於テ地主ハ小  
作料ヲ上ゲテ來ル、若モソレニ應ジナイ場  
合ニ於テハ、最近頻々トシテ起ッテ居リマ  
ス所ノ耕地ヲ中心トシタ小作爭議ガ起リマ  
ス、此頃ハ小作料ノ問題ヨリモ、耕地ヲ中  
心トシタ爭議ガ多イ、此頃米穀問題ニ付キ  
マシテハ、米穀自治管理法ガ出來マシテ、  
米價ガ安定シテ農業ガ稍引合フヤウニナッ  
タ、農業ガ引合フヤウニナッタ時ニ農村ニ  
於テ何故小作爭議ガ斯ノ如ク激増シタカト  
申シマスト、引合フヤウニナルカラ、今度  
ハ地主ガ其地面ヲ俺ガ取ッテヤルノダト云  
フコトニナル、此點カラ申シマスト、一方  
ニ於テ政府ガ養蠶モ助ケテヤル、生絲ノ値  
段モ安定シテヤルト云フコトニ依ッテ、一番

生産手段ノ根本デアル土地ニ付テ小作人ガ脅威ヲ受ケルト云フコトニ付テ農林大臣ガ何等御考ガナイト云フコトデアリマスナラバ、要スルニ片手落ノ農業政策ト言ハザルヲ得ナイ、賢明ナル山崎農林大臣ガ、小作農民ガ不安デナイト云フコトニ付テ、是非トモ斯ウ云フ席上ニ於テ切實ナル御言明ガナケレバ、ヤハリ農民ト致シマシテハ安心出来ナイ、御答辯ヲ願ヒマス

○山崎國務大臣

此農地關係ノ問題ハ、農地法何レ御審議ヲ願フカト思ヒマスルガ、私ノ考ヲ申上ゲマスト云フト、無論此小作爭議ノ問題ガ獨リ養蠶農民ダケデナク、米作地方ニ於テモ同様デアリマシテ、農民ニ取ッテ重要ナ問題デアルコトハ、仰セ迄モナイ事デアリマス、唯之ヲ政府ノ政策トシテ考ヘテ行キマス場合ニ、此小作料ト云フモノヲ政府ガ或ル法制ヲ以テドウトカ、政府ガ之ヲ干涉シテドウトカ云フコトハ、是ハ實際問題トシテ中々出来難イコトデアリマシテ、出来得ベクンバ那樣ナ問題ハヤハリ大體ニ於テ從來ノ慣行及ビ先刻甲上ゲマシタヤウナ一ツノ社會正義ノ觀念ト云フヤウナモノニ依ッテ協調的ニ圓滿ニ運

平野君邊リカラ御覽ニナリマス、隨分小作人ノ利益ヲ擁護スル意味ニ於テハ、生温イト云フヤウナ御感ジモ恐ラク御アリデアリマセウシ、サウ云フ議論モ必ズ出ルコトト思ヒマスガ、私共ハ生温イトカ、冷淡ダトカ云フヤウナ考ハ持チマセヌ、此間豫算總會デモ申上ゲマシタヤウニ、農村ノ問題ハ出来ルダケ農村一體ノ觀念デ進ミタイト云フノガ、私共ノ平素カラ一ツノ持論デアルノデアリマシテ、隨テ小作料ノ問題ノ如キモ出来得ベクンバ、若シ紛争ヲ生ズル場合ニハ第一次のニハ農地委員會ト云フモノヲ今回設ケマシテ、其農地委員會デ十分御世話ヲスル、已ムヲ得ザル場合ニ初メテ調停官ガ調停ヲスルト云フヤウナコトニナリマセウガ、出来ルナラバ一ツ村々ノ相談

○平野委員

大體御答辯ニ依ッテ大臣ノ御精神ハ分リマシタノデアリマスガ、尙ホ念ヲ押シテ置キタイノハ、ヤハリ米穀自治管理法ガ出来マシテ、小作爭議ガ出タ、又絲價安定施設法案ガ出来マシテ、桑畑ニ於テ地主ト小作人ノ争ガ殖エル、斯ウ云フコトハ實際的ニ考ヘマスナラバ、ソレハ已ムヲ得ヌト言ッテシマヘバソレダケデアリマスケレドモ、現實ノ農民ト云フモノカラ見マス、洵ニ遺憾千萬ナコトデアリマス、何故カト申シマスナラバ、常ニ私ガ持論トシテ申上ゲマシヤウニ、政府ガ幾多ノ施設ヲサレマシテ農業救済ヲヤッテ居ラレルニモ拘ラズ、今日依然トシテ農村ガ困ル、困ルト云フノハ何ノ爲デアルカ、ソレハヤハリ所謂耕作農民ト云フモノガ非常ニ不安定デア

共モ肯ケル點モアルノデアリマシテ、ソレ等ノコトハ考慮ニ十分加ヘテ行キタイト思ヒマス

○紫安委員長

ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス

フ所マデ、能ク蠶絲局長及ビ農林大臣ハ考ヘラレマシテ、本案ノ施行等ニ當リマシテ萬遺憾ナキヲ期セラレタイト云フノガ、私ノ切ナル希望デアルト云フコトヲ申上ゲマシテ、私ノ大體ノ質問ヲ終リマス

○山崎國務大臣

今日ハ農地法ガ本會議ニ出マスノデ、次官ト蠶絲局長ハ出ラレマスガ、今日ハ是デ……

○紫安委員長

午後開會致スト致シマスレバ御出席ニナルコトガ出来マセウカ

○山崎國務大臣

今日ハ農地法ガ本會議ニ出マスノデ、次官ト蠶絲局長ハ出ラレマスガ、今日ハ是デ……

○紫安委員長

午前十一時五十四分散會